

『神への ひそかな祈り』

吉田真司

一昨日の 8 月 15 日、教会で出川壽子さん（享年 85 歳）の葬儀・告別式を行いました。その当日、式の準備を終え、お棺の到着をお待ちする間に一冊の本を手に取り読みました。『わたしはよろこんで歳をとりたい』という本です。著者はイェルク・ツィンク（ドイツの神学者）、第二次世界大戦の危機の中を生き延びた一人として、世界の人々との共存と平和を唱え続けた人です。その本の帯にはこうあります。「老いを生きるとは、人生の 4 番目の季節を生きることだ。わたしたちはその季節を一步一步知ってゆく」と。その本の中にある「神への ひそかな祈り」に感銘を受けました。この祈りをご紹介します、今巻頭言といたします。その第 4 の季節を生き、天に召された出川壽子さんを偲びつつ。

「神よ、いまわたしは自分の人生を思い返しています。わたしの業績ではありません。それはとるに足りないものです。またわたしが行った、よいと思われるわざのことでもありません。やるべくしてやらなかったことの重さに比べたら、それは重さにすらならないのです。

わたしは経験させていただいたよいことのかずかずを思い浮かべています。多くのひとたちからの友情と好意、わたしがわかっている以上のものをあなたにいただきました。それに、あなたから与えられた一日いちにちの日々と元気を回復させていただいた夜々、不安や罪におののくときにはあなたがそばにいてくださいました。

多くの耐え難いこともありました。なんのためにこんな苦しみや苦勞をするのか、それがわからないことも多々ありました。どうか、あなたにお会いしたとき、その意味を教えてください。

わたしの仕事は終わりました。夢はすぎ去り、いま、ただあなただけがおられます。どうか平安のうちにあなたのみもとに帰らせてください。あなたの愛をずっと見せていただいていたのですから。父と子と聖霊の神にみ栄えがありますように。あなたは初めにおられ、いまもそして永遠におられるかたです。」

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、		青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すすかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間 4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>